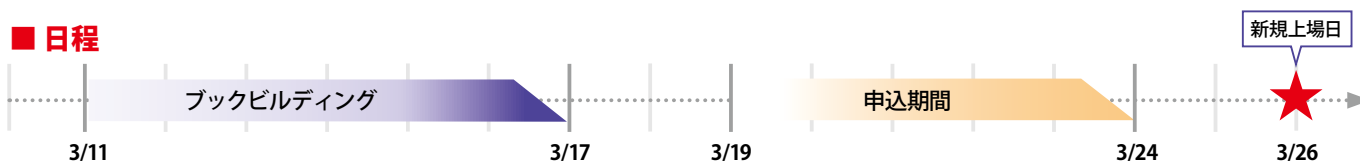


## IPO銘柄 日本動物高度医療センター (6039・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
6039	100 株	公募: 13.30 万株 売出: 59.23 万株 (OA10.87 万株)	1,080 円~ 1,130 円 (18.5 倍)	SMBC日興証券

### ■ 日程



## 犬・猫向けの高度医療を行う二次診療専門の動物病院を運営

### ■ 事業内容

犬、猫向けの高度医療を行う二次診療専門の動物病院を、神奈川県川崎市と愛知県名古屋市で展開。主力は二次診療サービスで、飼い主にとってのわかりつけ医院（一次診療施設）からの紹介を受け、特定の専門分野を持った獣医師が高度な医療機器を使用して診察、検査、投薬、手術などを行う。診療の質を高めるためには飼い主と一次診療施設との密接な関係が不可欠との考えから、診療は完全紹介のみ。子会社キャミックを通じて画像診断サービスも手掛ける。こちらも二次診療サービスと同様に一次診療施設からの紹介を受け、専門知識を有する獣医師がMRIやCTといった高度な医療機器を使用して画像の撮影、読影、診断などのサービスを行う。15年3月期第3四半期累計（14年4～12月）の売上高構成比は二次診療サービスが77.3%、画像診断サービスが22.3%、一次診療施設向けのサービスや物販販売などのその他が0.3%。

### ■ 特徴

動物と人間の絆、「ヒューマン・アニマル・ボンド」が叫ばれる中で、動物にも人間と同様に先端医療設備を備えた施設で診断してほしいというニーズの高まりに応える。同社の理念に賛同する全国の動物病院と連携病院の覚書を締結し、優先的な紹介患者の受け入れ、診療手術への参加、施設の有料利用などのサービスを行う。連携病院数は15年1月末現在で3,005病院となっている。

## アナリストコメント

### ■ 定量分析

15年3月期の連結経常利益は前期比55.6%増の1億4,400万円を計画する。グループ内の症例実績の学会発表や、一次診療施設の獣医師向けセミナー開催を積極的に行うなどの効果によって初診数の増加が継続。中期的には建設中の大阪分院(仮称)の寄与も期待される。

### ■ 定性分析

動物病院の株式公開は初めてで、いわゆる初物案件となる。バリエーション評価などを行う比較対象がなく明確な株価評価がしづらいため、IPOマーケットでは初値が買い進まれやすい傾向がある。高成長のペット市場で活躍していることも評価ポイント。

### ■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約9.4億円。筆頭株主が投資ファンドで、ベンチャーキャピタル保有株の比率は上場前ベースで3分の2と非常に高い。公開価格の1.5倍水準までのロックアップ条項は付されているが、その水準以上では需給環境が一変する可能性もある。(小泉健太)

### ■ 類似企業

日本動物高度医療センター (6039・マザーズ)	予想PER18.5倍 (仮条件上限)
アニコム ホールディングス (8715・東証1部)	予想PER40.4倍
エコートレーディング (7427・東証1部)	予想PER49.7倍

### ■ 引受証券

SMBC日興証券、みずほ証券、SBI証券、東海東京証券、マネックス証券、SMBCフレンド証券、岡三証券、丸三証券

## 業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年3月期(実績)	1,327	—	12	—	7	—	3.4	—
14年3月期(実績)	1,481	11.6	92	7.7倍	86	12.2倍	41.7	—
15年3月期(会社予想)	1,913	29.2	144	55.6	126	46.5	61.0	—

※ 13年3月期より連結決算。15年1月に株式分割(1株→100株)を実施。13年3月期、14年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年3月期	17,436	2,986	276	200	3.4	9.2	2.5
14年3月期	17,436	3,223	362	200	41.7	11.2	27.0

※ 13年3月期および14年3月期のBPSは遡及修正

## 大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	Globis Fund III,L.P.	731,400	31.81
2	安田企業投資3号投資事業有限責任組合	244,700	10.64
3	Globis Fund III(B),L.P.	206,300	8.97
4	金重 辰雄	187,400	8.15
5	風越建設	120,000	5.22
6	NIFSMBC-V2006S3投資事業有限責任組合	115,800	5.04
7	新生銀行	77,200	3.36
8	サンリツ	70,000	3.04
9	大津 光義	50,000	2.17
10	正岡 敦喜	48,200	2.10

## 経営陣

役職	氏名
代表取締役会長	金重 辰雄
代表取締役社長 診療本部長 兼 第一診療部長	平尾 秀博
取締役 渉外担当	北村 直人
取締役 教育・研究担当 兼 第二診療部長	小野 憲一郎
取締役 川崎本院院長 兼 第三診療部長	松永 悟
取締役 管理本部長	石川 隆行
取締役	川端 節夫
常勤監査役	有川 弘
監査役	鈴木 雅雄
監査役	吉島 彰宏

# モーニングスターIPOレポートの読み方

## 特 徴

モーニングスター IPO<sup>(※1)</sup> レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング<sup>(※2)</sup> が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

## 項目説明

### ■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

### ■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

### ■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

### ■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

### ■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

### ■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

## 本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

## 手数料およびリスク等について

### 国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

### 国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

### 留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者  
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号  
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会